

知床の窓から見えるもの

2014年2月3日（月曜日）

はじめまして。

知床の窓から見える我が町「羅臼町」は、世界自然遺産の知床半島東部に位置する人口 5,800 人の漁業の町です。

窓からは、知床連山を見上げ、根室海峡・国後島を見渡し、大自然に囲まれた地域です。

夏は知床の山々のトレッキング・登山。根室海峡に集まるクジラやシャチ・海鳥たちを身近で体感できるクルーザー。真冬の流氷下のダイビングなどアウトドアの楽しみがたくさんあります。



わたしのおススメは、北海道の七夕の季節 8 月 7 日の“**知床峠からの星空**”と、秋から始まるイカ漁の“**漁火（いさりび）**”です。

都会のイルミネーションや夜景の煌びやかさはありませんが、自分の視線にある天の川には驚きましたし、根室海峡に浮かぶ漁火は幻想的です。

知床らうす国民健康保険診療所は、2012 年 7 月に公設民営の診療所としてオープンいたしました。「**公設＝羅臼町の建物**」「**民営＝社会医療法人孝仁会の医療**」という国内でもめずらしい形態の診療所です。（今、はやりのコラボでしょうか……。だから、建物は大切に、大切に使っています。）

羅臼町唯一の診療所は、ベッド数 14 床。

わたし達は、透析治療をはじめ、初期救急医療・入院治療・予防接種や健診などの保健予防・リハビリ・在宅医療から終末期医療まで、町民の皆様が地元で必要な医療が受けられるよう、地域の皆さんと協働で「包括ケア」の提供を目指しています。



ぜひ一度、世界自然遺産の町「知床らうす」へ足を運び、大自然と地域を感じてみてください。わたし達は、この地域で必要とされる医療を提供しています。

「公設」という力を借りながら、「どのような医療や看護を提供できるか」を発信していきたいと思えます。